

# 元祖 モリモリ書店

令和2年度 愛知教育大学附属岡崎中学校

読書だより

共. P. リニエルの手紙のついでに...

そしてABBA映画が  
ありましたね。

第22話 R02.06.26(金)  
「音楽はわたしの人生を  
変える力を持っている。」

★今回、紹介する本は、『ヤクザときどきピアノ』（著/鈴木智彦、出版/CCCメディアハウス）です。

暴力団の密着取材などで、長年記事を書いてきた52歳のフリーライターの実話。

譜面の読み方も知らず、全くピアノを弾いたことのない著者が、ある日、ABBAの『ダンシング・クイーン』という曲に出会います。

そして、「この曲をピアノで弾きたい」と思い立った著者が、ピアノ教室に通い始め、レイコ先生というすてきなピアノ教師とともに練習をしていく話。

ハードボイルドな感じの著者が、ピアノのすばらしさに純粋に感動し、「音楽」や「自分自身」と向き合っていく感じが、とっても楽しいです。「ピアノ」や「ピアノ教育」についても考えさせられるところも魅力。一歩を踏み出す勇気をもらえる1冊です。ぜひどうぞ。

ヤクザときどきピアノ



鈴木智彦

「ダンシング・クイーン」が弾きたいんです

「ヤクザときどきピアノ」は、著者が知るフリーライターがピアノ教室に通った実話。

コンパクトな量で、とても読みやすい。

練習すれば、弾けない★  
曲などありません。(p.29)』

音楽は誰もが  
生まれながらに  
喋れる言語なの。(p.59)』

他人がどれだけ上手に  
弾いても、引け目を感じる必要はない★  
他人と比べる必要は全くないからね。(p.142)』

1-32-ジック、1-ライフ。

「ド」の音をただ  
ただで感じる  
著者の姿が  
音楽、やっぱり  
すばらしい!!

その一歩を  
踏み出した  
よ。

ABBA  
.....よね。